

本校は、「海の京都」とよばれる日本海を抱く京都府北部にあり、10クラス計192人の児童が在籍している。教育目標「生活を見つめ、自分の可能性を拓いていく子どもの育成」をめざし、学校歯科医や地域と連携して歯と口の健康づくりに取り組んでいる。

●歯と口の健康に関する学習指導(各教科・学級活動・総合的な学習の時間など)

ひばり:「じょうずな歯みがきでむしばいきんをおいだそう」  
 1年:「かみかみしょくざいをさがそう(お口の中のセンサー)」  
 2年:「歯や口のけがをふせぐ方ほうを考えよう」  
 3年:「よくかんで食べよう」  
 4年:「つくろう～①My歯の模型②健康3か条～」  
 5年:「歯と口を怪我した時、どうすればよいだろう」  
 6年:「生活習慣病を予防しよう～むし歯と歯肉炎～」



5年:楽しく学ぼう! 歯の健康づくり(公益財団法人日本学校保健会出張講座)咀嚼判定ガムで「噛む」大切さを学んだ



6年:第80回全国小学生歯みがき大会(公益財団法人Lion 歯科衛生研究所)デンタルフロスが正しく使えるよう体験した



学校歯科医による学級指導  
 1年:むしばから歯をまもろう(歯の王さま)  
 2年:こどもの歯とおとなの歯(歯の形による役目)  
 3年:かむとよいことを知ろう(唾の働き)



4年:京都府歯科衛生士指導  
 5年6年:舞鶴市歯科衛生士指導  
 自分の歯の特徴を知り磨き残しに気をつけてみがく意欲を高めた



栄養教諭の食育 3年「かむことの大切さを知ろう」  
 ごはんや切干大根のナムルを5回と30回噛んだ時の違いを確認する実験からふだんの食事を振り返り、咀嚼回数の違いによる変化に気づいた



養護教諭の保健指導  
 体重測定前のミニ指導と、休み時間のCO教室



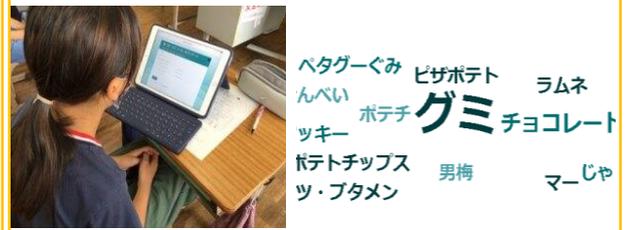
●児童会活動

保健体育委員会・歯科検診結果から全校のむし歯地図を作り、劇にして学校歯科医と共に全校集会で発表



●児童意識調査

歯と口のアンケート・歯みがき頻度・おやつ嗜好調査

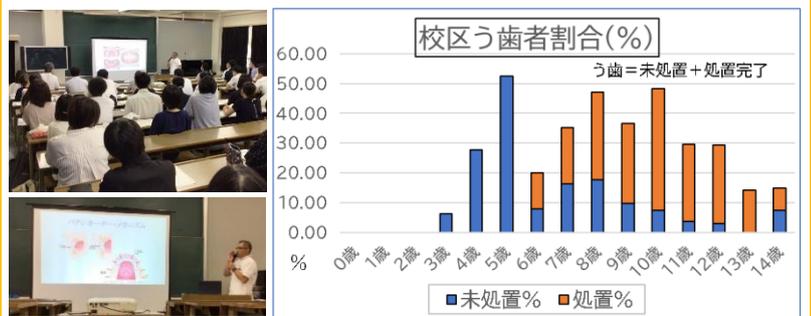


●家庭、地域との連携

歯磨き磨き残しチェック(夏休み・冬休み)

染め出し錠を持ち帰り、家庭で歯の磨き残しチェックを行い、長期休みも歯と口を健康に保てるよう取り組んだ

幼小中高連絡会・学校歯科医の講話と分科会での歯と口の実態交流



歯ブラシチェック・・・歯ブラシ持参率と歯ブラシ取りかえ時期の確認(7月→12月 改善がみられた)

